

# 私の好きな水

私は、水が大好きです。特におばあちゃんの家の水が一番好きです。

おばあちゃんの家は、山梨県南アルプス市という自然豊かな場所で、標高四〇〇メートルのところにあります。

おばあちゃんの水は、すごくきれいで、すごく冷たくて美味しいです。

夏の暑い日に外から帰ってきて、手だけではなく腕や顔を水で洗うとすごく気持ちよくて涼しくなります。

以前、埼玉県の親せきの家に遊びに行き、手洗いうがいをすると、

山梨県で飲んでいる水の味と違う味がして驚きました。

私の口には合わず、山梨県の水道水のように美味しく飲めないと思いました。

どうしてなのかお母さんに聞いてみると、

「東京の方が残留塩素が多いから、消毒液が多く入っているんじゃない。」と、言われました。

この時私は、普段から美味しい水を飲めることが幸せなことだと感じました。

しかし、世界の中で水道水をそのまま飲めることが出来るところが、わずかであるため

日本に住んでいる人は水道水に手を加えず飲めるだけでも幸せなことだと思いました。

世界には、水が汚染されていて飲めない国もあります。

小学生の頃に読んだ絵本には、私より若い子どもがお母さんと一緒に、

遠くの川まで水を取りに行くお話がありました。

でも、取りに行った水は茶色く、きれいな水ではありませんでした。

この間、学校の近くに流れている川にペットボトルのゴミが浮いていました。

水を簡単には飲めない人がいたり、きれいな水が入らない人がいることを考え、

ゴミを水に流さないようにしてもらいたいと思いました。

遠く離れた場所の人かもしれないけれど、自分が川に捨てたゴミが海に流されてしまい

汚染の原因になっているかもしれない、ということを経験した人を知ってもらいたいと思いました。

汚染が少しでもよくなって世界中の人がきれいで美味しい水が飲めるようになってほしいと思いました。

SDGsの項目にもある「世界中に安全な水」を届けられる日が、一日でも早く来れば良いなと思います。

私が、普通に飲んでいる水が誰かにとっては、すごく大切なものなんだとあらためて思いました。

これからも、水を無駄にしないで生活していこうと思います。

また、ゴミ拾いなどに参加して、少しでも海にゴミがいかないようにしたり、

洗ざいなどを多く流さないようにしていこうと思いました。

世界中の人たちが私みたいに、きれいで冷たくて、

美味しい水が飲めるようになってほしいです。

世界中の人に、きれいな水が行き渡ることを願っています。



駿台甲府中学校 一年

野口京子

絵 浅見祥子